

パブリックコメント

主な意見と教育委員会の考え方

意見1 スクールバスは地元と良く協議し、実態に合わせて運行してもらいたい。

通学の安全を確保するため、子どもたちが無料で利用できるスクールバスを運行します。運行については学校行事や部活動等の時間帯にも柔軟に対応できるようにします。

なお、運行ルートについては保護者の方々の意見を尊重しつつ、全体を勘案して地区の皆様と相談のうえ決定していきます。

意見2 教育上、ある程度の人数は必要。

大規模校も小規模校もそれぞれメリットとデメリットがあり、どちらの規模が全面的に良いというものはありません。小規模の素晴らしい点は十分理解しており、これを大切にしたい取組を心がけていかなければならないと思います。

適正規模校においては、小規模校の良さを多く取り入れた取組が工夫次第で可能となります。また部活動面でも、集団行動・礼儀・基本的生活習慣・規範意識・気力・体力など得るものは極めて大きいものがあります。

未来に生きる子どもたちが必要な体験と学習をするには小規模校ではどうしても限界があると思います。適正規模の学校で、多くの友人、多くの先生とのふれあいの中で、喜びも苦しみも共有し乗り越えながら「生きる力」の基礎をしっかりと育成したいと考えています。

意見3 子どもたちのためにも早く統合してほしい。

なるべく早く結論が出ることを好ましいと考えておりますが、学校の統廃合は地域のコミュニティにも大きな影響があり、地元の皆様や保護者の方々のご理解なしには進められません。皆様にご理解いただけるよう、できる限りの努力をまいります。

意見4 統合にあたっては生徒達が孤立したりすることの無いよう配慮してほしい。

統合するには、子どもたちが孤立しないよう学級編制上の配慮をするとともに、スクールカウンセラーや通常の教員定数を超える教員を配置し、子どもたちの心のケアに努めます。

意見 5 時間をかけて地域と話し合っほしい。

なるべく早く結論が出るのが好ましいと考えておりますが、学校の統廃合は地域のコミュニティにも大きな影響があり、地元の皆様や保護者の方々のご理解なしには進められません。皆様にご理解いただけるよう、できる限りの努力をまいります。

意見 6 学校規模の適正化や通学の安全上、学区を変更すべき。

学区については児童生徒数の推移だけでなく、地域の一体性も考慮しながら、随時見直しを行ない、児童生徒や保護者にとって負担の少ない、安全な通学環境となるよう努めます。

意見 7 地域コミュニティに配慮して学区を見直すべき。

学区については今後も随時見直しを行ない、地域の一体性も考慮しながら、児童生徒や保護者にとって負担の少ない、安全な通学環境となるよう努めます。

意見 8 基本的には賛成だが統合先など見直す余地があると思う。

学校適正配置案については、今後、地域の皆様や保護者の方々と協議を重ね、様々な意見をいただき、地区の意向を尊重したいと考えています。

意見 9 統合されなければ学区外の学校へ通う。

なるべく早く結論が出るのが好ましいと考えておりますが、学校の統廃合は地域のコ

コミュニティにも大きな影響があり、地元の皆様や保護者の方々のご理解なしには進められません。皆様にご理解いただけるよう、できる限りの努力をしております。

意見 10 跡地利用は地域コミュニティで活用できるものにしてほしい。

学校跡地については、地区の皆様とも協議を重ねながら、住民ニーズにあった利用を検討します。

意見 11 統合後の地域の過疎化対策も検討すべき。

学校跡地を地域コミュニティに資するものとするなど出来る限り努力します。

意見 12 他校と交流する場を設けた方がよい。

統合するしないにかかわらず、他校の状況を知っていただく意味でも、交流の機会是非実現したいと思います。

意見 13 全市域を対象に、学校の位置そのものを見直した方がよい。

確かに学校の位置そのものを見直した方が理想的な学校配置になると思いますが、学校の移転に要する時間や今後の人口分布の変動などを考慮すると、実現の可能性も低くなり、また児童生徒数も計画上の人数と実際の人数とで大きな乖離が生じるおそれがあります。

今回の学校適正配置案は、現実的に実現可能なものとして皆様にご提案させていただきました。

意見 14 小規模校としてのメリットを生かした教育を行うべき。

大規模校も小規模校もそれぞれメリットとデメリットがあり、どちらの規模が全面的に良いというものはありません。小規模の素晴らしい点は十分理解しており、これを大切にした取組を心がけていかなければならないと思います。

適正規模校においては、小規模校の良さを多く取り入れた取組が工夫次第で可能となります。また部活動面でも、集団行動・礼儀・基本的生活習慣・規範意識・気力・体力など得るものは極めて大きいものがあります。

未来に生きる子どもたちが必要な体験と学習をするには小規模校ではどうしても限界があると思います。適正規模の学校で、多くの友人、多くの先生とのふれあいの中で、喜びも苦しみも共有し乗り越えながら「生きる力」の基礎をしっかりと育成したいと考えています。

意見 15 通学の便が確保されない統合には反対。地域に学校があった方が安全だし安心できる。

通学の安全を確保するため、子どもたちが無料で利用できるスクールバスを運行します。運行については学校行事や部活動等の時間帯にも柔軟に対応できるようにします。

なお、運行ルートについては保護者の方々の意見を尊重しつつ、全体を勘案して地区の皆様と相談のうえ決定していきます。

意見 16 学校が無くなると地域コミュニティへの影響が大きい。

学校跡地を地域コミュニティに資するものとするなど出来る限り配慮します。

意見 17 統合による環境の変化が子どもたちに悪影響を及ぼすのが心配。

統合する際には、子どもたちが孤立しないよう学級編制上の配慮をするとともに、スクールカウンセラーや通常の教員定数を超える教員を配置し、子どもたちの心のケアに努めます。

意見 18 学校には歴史・文化的意義があり統廃合すべきでない。

確かに学校は地域に根ざした歴史・文化的意義もあり、卒業生にとっては心のふるさととも言えるべき存在であると思います。しかしながら、学校は将来を担う子どもたちの教育の場であり、どのような教育環境が子どもたちにとって望ましいかという点を第一に考

えなければならないと考えております。未来に生きる子どもたちが必要な体験と学習をするには小規模校ではどうしても限界があると思います。適正規模の学校で、多くの友人、多くの先生とのふれあいの中で、喜びも苦しみも共有し乗り越えながら「生きる力」の基礎をしっかりと育成したいと考えています。

学校の統廃合は地域のコミュニティにも大きな影響があり、地元の皆様や保護者の方々のご理解なしには進められませんので、地区の意向を尊重したいと考えています。なお統合となった場合でも、学校の持つ歴史・文化的意義については、地域の皆様と跡地利用を考える際に十分考慮いたしますのでご理解いただきたいと思ひます。

意見 19 小中一貫教育や小規模特認校制度など、新たな仕組みを導入し学校存続の方策を検討すべき。

未来に生きる子どもたちが必要な体験と学習をするには小規模校ではどうしても限界があると思います。適正規模の学校で、多くの友人、多くの先生とのふれあいの中で、喜びも苦しみも共有し乗り越えながら「生きる力」の基礎をしっかりと育成したいと考えています。

しかし、学校の統廃合は地域のコミュニティにも大きな影響があり、地元の皆様や保護者の方々のご理解なしには進められませんので、皆様にご理解いただけるよう、できる限りの努力をしてまいります。また議論を尽くし導き出された結果に関しては、これを尊重したいと考えています。

意見 20 学校経営の効率化のために統合するのには反対。

教育委員会は、学校経営の効率化など経費の面ではなく、あくまでも子どもたちの教育環境を考えて、この学校適正配置案を提案させていただきました。

未来に生きる子どもたちが必要な体験と学習をするには小規模校ではどうしても限界があると思います。適正規模の学校で、多くの友人、多くの先生とのふれあいの中で、喜びも苦しみも共有し乗り越えながら「生きる力」の基礎をしっかりと育成したいと考えています。

意見 21 財政を健全に保つためにも安易な新設校建設は慎むべき。

未来に生きる子どもたちが必要な体験と学習をするには小規模校ではどうしても限界が

あると思います。適正規模の学校で、多くの友人、多くの先生とのふれあいの中で、喜びも苦しみも共有し乗り越えながら「生きる力」の基礎をしっかりと育成したいと考えています。

こうした教育ができる環境整備は教育の機会均等、教育諸条件の公平性を確保する観点からどうしても必要であると考えています。そのなかでどうしても必要と思われる場合のみ新設校を建設することとしたものですので、ご理解いただきたいと思います。

意見 22 学校が変わると学用品を揃え直さなければならず経済的負担が大きい。

学用品については以前のものお使いいただくこともできますが、自分だけが周りとは違うことで子どもたちに心理的負担が生じてしまう場合もあるかと思っています。

そこで、既存校同士の統廃合の場合は、学校が指定する学用品等（制服、ジャージ等）については公費で負担させていただきたいと考えており、できるだけ家庭の負担が少なくなるよう配慮したいと思います。

意見 23 成田市は空港のおかげで発展できたのだから騒音下の地域はもっとケアすべき。

現在の成田市の発展は、ご指摘のとおり成田空港なしには考えられません。その一方で航空機騒音により大きな負担を強いられる地域があり、また騒音下の地域の多くが過疎化問題にも直面しているのも事実です。

今後の学校のあり方について、地域の皆様の声に耳を傾けながら協議していきたいと思っています。